

1	(1)	37	(2)	75	(3)	99	(4)	26
	(5)	11	(6)	1	(7)	16	(8)	38
	(9)	40	(10)	54	(11)	31 (日)	(12)	39 (分)

2	(1)	3	(2)	21 <small>ばん 番目</small>	(3)	27 <small>ばん 番目</small>
---	-----	---	-----	-------------------------	-----	-------------------------

3	(1)	18 <small>cm</small>	(2)	26 <small>まい</small>
---	-----	----------------------	-----	----------------------

4	(1)	40 <small>円</small>	(2)	900 <small>円</small>	(3)	120 <small>円</small>
---	-----	---------------------	-----	----------------------	-----	----------------------

5	(1)	20 <small>人</small>	(2)	18 <small>人</small>
---	-----	---------------------	-----	---------------------

1 (6) $\square = 25 - 24 = 1$

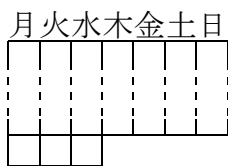
(7) $35 = \square + 19 \rightarrow 35 - 19 = 16$

(8) $77 - \square = 39 \rightarrow 77 - 39 = 38$

(9) $\square - 28 = 12 \rightarrow 12 + 28 = 40$

(10) $58 - \square + 76 = 80$
 $58 - \square = 80 - 76 = 4$
 $\square = 58 - 4 = 54$

(11) 右の図のように、何週間か、
 あまりが3日になる。どの1
 か月も4週間はあるので、
 $7 + 7 + 7 + 7 + 3 = 31$ (日)



(12) $19\text{分}30\text{秒} + 19\text{分}30\text{秒}$
 $= 38\text{分}60\text{秒} = 39\text{分}$

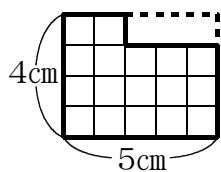
2 (1) $1, /1, 2, /1, 2, 3, /1, 2, 3, 4, /1, \dots$
 このようにグループに分けることができる。
 $18 = 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 3$
 6こ目のグループの3番目なので、3。

(2) はじめての6は6こ目のグループの6番目。
 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 = 21$ (番目)

(3) 6こ目のグループから、6はかならず1つつ出てくる。次の6は、7こ目のグループの6番目。
 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 6 = 27$ (番目)

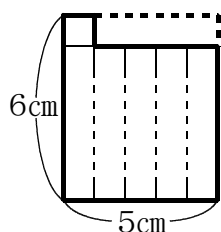
3 (1) 右の図のように、長方形にして考える。

$4 + 5 = 9$ (cm)
 $9 + 9 = 18$ (cm)



(2) $22 = 11 + 11$
 $11 - 5 = 6$ (cm) ... たて
 よって、右の図のとき。
 6だん目は、1まいでよい。
 図から、

$5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 1 = 26$ (まい)



4 (1) A2ことB8こ → A1ことB9こは、
 A1こをB1こにとりかえた買い方。
 $980 - 940 = 40$ (円) 安くなっている。
 よって、A1こはB1こより40円高い。

(2) A1ことB9こで代金が940円。
 ここからさらにA1こをB1こにとりかえると、
 B10こだけの代金になる。
 $940 - 40 = 900$ (円)

(3) B10こが900円。
 $900 = 90 \times 10$ より、B1こは90円。
 $90 + 40 = 130$ (円) ... A1こ
 $130 + 90 = 220$ (円)
 $220 + 220 + 220 + 220 = 880$ (円)
 $1000 - 880 = 120$ (円)

5 (1) $33 + 7 = 40$ (こ) $40 = 2 \times 20$
 よって、子どもは20人いる。

(2) 玉の取り方は、白白か、白赤か、赤赤。
 5人すべてが白赤だと、はこから赤を5こ取ることになる。このとき、 $7 - 5 = 2$ (こ) たりない。
 白赤の人を1人赤赤にすると、赤を取るこ数が1こふえる。 $2 = 1 \times 2$ より、2人は赤赤となる。
 20人のうち、白い玉を取ってないのはこの2人だけ。よって、 $20 - 2 = 18$ (人)

(配点) 1 ; 各5点 × 12 他 ; 各4点 × 10